

黄砂が気候を支配する？

黄砂はどこから来るの？

タクラマカン砂漠・ゴビ砂漠などから飛んできます



風にまう砂ぼこり

ゴビ砂漠の近くで撮影

撮影者：Prof. D. Chingee (National Univ. of Mongolia)



ゴビ砂漠などで、まい上がった砂ぼこりが日本まで飛んでいきます

上空の風によって遠くまで運ばれるんだよ



黄砂の日

ながさき市で「黄砂の日」に撮影
みぎがわやまうえには太陽があります
右側の山の上には太陽があります



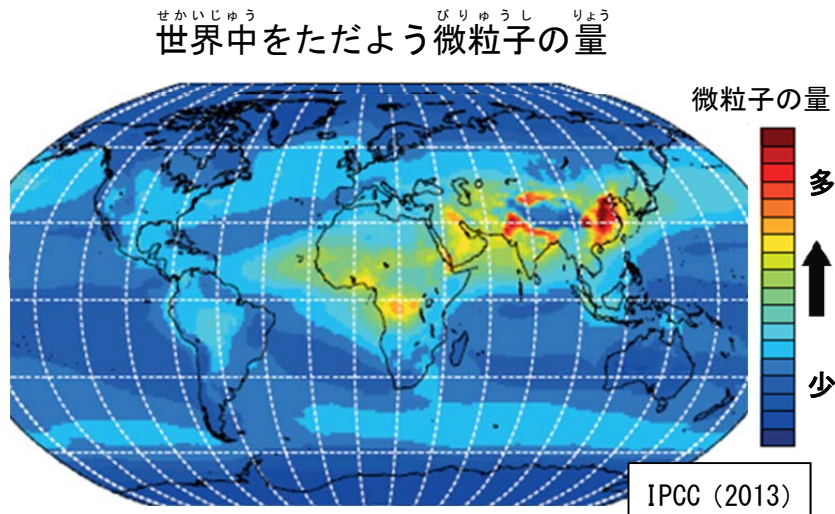
普通の日

ながさき市で「普通の日」に撮影

春になると空が黄色や白っぽくかすんで、遠くの景色が見えにくくなる場合があります。これは、くもっているわけではなく、黄砂とよばれる現象です。黄砂の正体は、中国大陸奥地のタクラマカン砂漠、ゴビ砂漠などで強風によってまい上げられた砂ぼこりです。この砂ぼこりが上空の風によって、はるばる日本まで飛んでくる現象は、春に多く見られます。

黄砂は世界を一周し、太陽の光を反射することによって、気候にも影響する 黄砂が気候を支配する？

黄砂は、鉱物ダスト(ごみ)ともよばれ、空気中につかぶ微粒子(非常に小さな粒)の仲間です。強風で空にまい上がった黄砂は世界を一周し、地球をおおつように世界中に広がります。空气中にただよう粒子は、太陽の光を反射してさえぎり、地球の温度を下げます。こうして、多量の黄砂は地球の気候にも影響をあたえます。



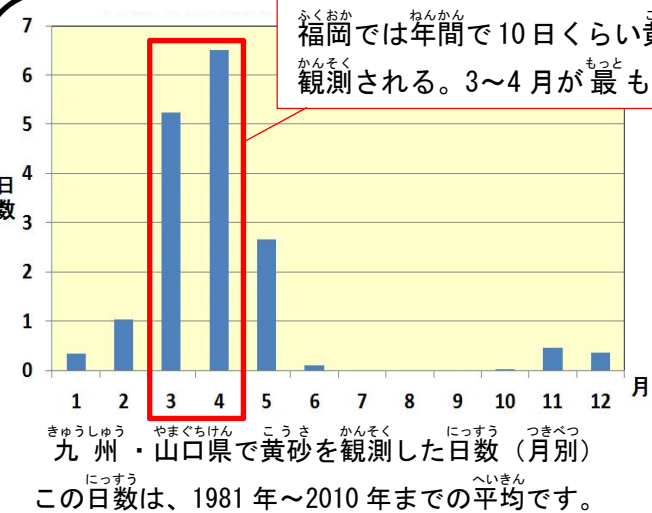
微粒子は陸地に多く分布しているよ。特に中国大陸で多くなっているね。



黄砂の影響



2002年4月8日、黄砂の影響で視界が悪くなり、福岡空港では飛行機が11便欠航しました。車や洗濯物が汚れるなどのほか、数マイクロメートルという非常に小さい固体の粒子のため、肺に吸いこんだときの健康への影響が心配されます。



春は黄砂の季節

日本国内で黄砂を観測する年間の回数が多いのは、中国大陸に近い九州北部地方です。春になって中国大陸で雪がとけることで、砂ぼこりがまい上がりやすくなる3月・4月に、最も多く黄砂が観測されます。夏になって、雨がふり、黄土地帯に草がはえるようになると、砂ぼこりがまい上がりにくくなるため、発生回数は少なくなります。

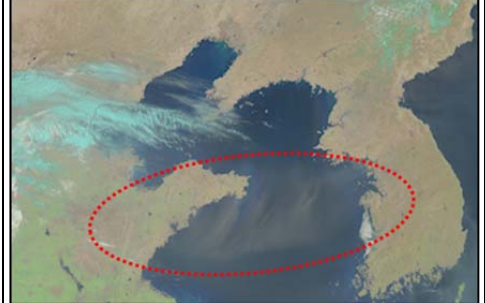


2016年	3月7日	月曜日
平成28年		
福岡管区气象台	〒810-0052	
防災調査課	福岡市中央区大濠 1-2-36	
電話	092-725-3614 (記事) 092-725-3600 (天気相談所)	
メール	fk-kanku@met.kishou.go.jp (ご意見・ご要望はこちらまで)	

《お天気 Q&A》

Q: 気象衛星「ひまわり8号」でも黄砂は見えますか？

A: 観測条件が良いときは、「ひまわり」でも黄砂が見えることがあります。「ひまわり」には、ふつうのカメラのほかに、赤外線カメラがあり、画像をうまく組み合わせることで、下の写真のように黄砂を見ることができます。



ひまわり8号でみた中国大陸からの黄砂。黄砂は赤い点線で囲んだところ。特に海上の茶色の部分が砂のように見えます。

気象情報へのアクセス

雨・雪がふっている場所は

ナウキャスト

黄砂情報(予測)

黄砂